

株式会社カカオ、2012 Red Herring 誌のアジア 100 の企業に選定！

平成 24 年 9 月 13 日（木）

株式会社カカオジャパン

2012 年 9 月 13 日（木）、世界 216 ヶ国で無料電話(※)・メッセージアプリ『カカオトーク』(英語名：KAKAO TALK、<http://www.kakao.com>)を展開する、株式会社カカオ（共同代表：イ・ジェボム、イ・ソクウ）は、去る 10～12 日の 3 日間、香港で開催された「2012 レッドヘリングアジアフォーラム」にて、レッドヘリング（Red Herring Magazine）が選定した未来の技術을導いて行く最も囑望されるアジア企業 100 社に選ばれたことを明らかにした。

レッドヘリングは世界的な IT 専門メディアとして、1996 年から毎年技術力に優れた世界の企業を選定してきた。特に今回カカオが選定された「レッドヘリング 100 社アジアアワード (2012 Red Herring Top 100 Asia Award)」は、アジア全域にかけて財政遂行能力、技術革新度、経営能力、事業戦略などの基準に基づいて、成長の可能性と潜在力、革新性が最も高い上位 100 社の企業を選抜する賞である。

今年も数多くの候補企業が参加して角逐戦を行い、そのうちモバイルメッセージャーサービス業界で初めてカカオが選ばれた。カカオは、『カカオトーク』と『カカオストーリー』を介して、スマートモバイル時代にふさわしい新概念とコミュニケーション文化をリードし、モバイルサービスの革新技術のグローバル化に寄与している。また、共生の精神を実践する健全なモバイル・エコシステムの構築に力を入れて、良質の知識と情報が行き交うオープンプラットフォームへと跳躍するための技術革新と開発に全力を尽くしている。

アレックスビュー（Alex Vieux）レッドヘリング CEO 兼編集長は、「世界的な経済不況の中でも数多くの企業が革新的な技術やサービス、製品を提供しており、どの年より競争が激しかっただけに、100 社を選抜するのに大きな困難を経験した。」と伝えた。彼は引き続き「高い成長の可能性を見せてくれたカカオは、今回の賞を受賞する上で十分資格があり、ここ一年で成し遂げた注目すべき成果を基盤に、今後も大きな影響力を持った企業として成長すると信じている。」と語った。

2012 レッドヘリングアジアアワードを受賞したカカオのイ・ソクウ代表は「モバイルプラットフォームに飛躍するための努力の結実で世界的に認められている大きな賞を受けることになって光栄に思う。」と所感を伝え、「今回の受賞を契機に、カカオの技術力と将来の可能性を立証するようになり、アジアを越えて全世界の人々に愛される企業として成長

できるように拍車をかける。」とその抱負を明らかにした。

一方、カカオをはじめ、「レッドヘリング 100 社、アジアアワード」を受賞した企業は、アジアを越えて北米、欧州で選ばれた 200 社の企業と一緒に世界 100 社の有望企業を選定する「レッドヘリング 100 社のグローバルアワード」の候補に進出する機会を得ることになる。

[参考写真 1]



<写真説明>

去る 12 日、香港で開催された「2012 レッドヘリングアジアフォーラム授賞式」で、「レッドヘリング 100 社アジアアワード (2012 Red Herring Top 100 Asia Award)」を受賞した株式会社カカオのイ・ソクウ共同代表 (右側) がアレックスビュー (Alex Vieux ) レッドヘリング CEO 兼編集長 (左側) に祝福を受けながら、喜びを分け合っている。

[参考写真 2]



<写真説明 2>

株式会社カカオのイ・ソクウ共同代表が去る 10～12 日に香港で開催された「2012 レッドヘリングアジアフォーラム」で、モバイルプラットフォームに進化を重ね、モバイル革命を主導しているカカオの成功ストーリーをテーマに発表している。

■ 2012 RED HERRING ASIA Finalists

<http://www.redherring.com/red-herring-asia/asia-2012-finalists/>

※3G 回線にて無料電話を利用する際は、別途パケット通信料が発生します。